

「世界で唯一の家を誕生させませんか？」 気密性にこだわる 「ちよっとカッコイイ」家

エコルハウスひら木

「経済性の高い(economical)建物を、住まう人とコラボ(collaboration)しながら、世界に一つの家(House)をつくる」。そんな想いから名付けたエコルハウスひら木(海老名市中新田、杉崎茂夫社長、046-2009-41808、<http://www.ecol-house.com/>)は、



「ご要望を叶えるための努力は惜しみません!」と杉崎社長

神奈川県を中心に「ちよっとカッコイイ家」づくりをコンセプトにした地域密着の一級建築士事務所である。

杉崎社長は、設計・施工監理の実務経験25年以上の豊富な知識と技術・ノウハウを駆使し、お客様の夢をかたちにすべく「どんなこだわりの、わがままも遠慮なくお話しください。良い家をつくるため、どんなご要望にも真正面から向き合います」とヒアリングにかける時間を惜しまず、設計士が直接話を伺うことを大切にしている。また、土地選びから資金計画(住宅ローンアドバイザーとしても登録済)、

そして引渡し後の定期チエック・アフターメンテナンスまで家づくりに関してフルサポートする体制も強みである。

そんな社長のこだわりを極めたのが、軸組工法+パネル工法の高気密・高断熱住宅である。気密性を限りなく高めた構造にすることで、空気の流れの経路・方向をコントロールした計画的な換気を可能にした。室内の汚れた空気を戸外へ排出させ、よどみない空気の流れをつくり出すシステムがカビやダニの発生を抑え、健康な生活につながる。また、魔法瓶のように熱を包み込む設計で断熱性に優れているため、1年中快適な室温を保った冬でも暖かい家に住むことができ、健康寿命が延びるエコ住宅として全棟に採用している。



「ちよっとカッコイイ」家の実例

同社は住宅に関する定期的なセミナーはもちろんのこと、フラワーアレンジメント教室や「ひら木フェスタ」の開催など地域活動にも余念がない。社長は「地元企業として多くの人に認知され、なくてはならない会社になりたい」と夢を語ってくれた。